

病防第41号
平成30年8月7日

各関係機関の長 様
(農政担当)

岐阜県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について(送付)

このことについて、下記のとおり発表したの、指導上の参考にしてください。

記

平成30年度病虫害発生予察注意報第3号
(果樹カメムシ類)

平成30年度病虫害発生予察注意報第3号

平成30年8月7日
岐 阜 県

作物名 果樹(ナシ、カキ、モモ、リンゴ、ミカン等)

病虫害名 果樹カメムシ類(主にクサギカメムシ)

- 1 発生地域 県下全域
- 2 発生時期 8月上旬以降
- 3 発生程度 多い
- 4 予報の根拠
 - (1) 予察灯におけるクサギカメムシの累積誘殺数は、岐阜・西濃地域で平年の
1. 3倍とやや多く、中濃、飛騨地域では、それぞれ平年の3.9倍、
2. 4倍と多い(表)。
 - (2) 本虫の予察灯への誘殺数は、各地域とも6月下旬から増加し、中濃、飛騨地
域では7月下旬においても平年を上回っている(図)。
 - (3) 飛騨地域の果樹園では、すでに吸汁被害が確認されている。
 - (4) 名古屋地方気象台の1か月予報(8月2日発表)では、気温は平年より高い
と予想されており、本虫の活動に好適な条件となる。
- 5 防除上の注意事項
 - (1) 被害の発生には地域差や園地差があるので、園内へ飛来を確認したら防除を
実施する。なお、薬剤散布は夕方か早朝に行うと効果的である。
 - (2) 果樹カメムシ類の飛来は気温及び湿度が高く、風の弱い日に多くなるので注
意する。
 - (3) 農薬の使用にあたっては、最新の登録情報を参照し、適正に使用する。
(http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm 農林水産消費安全技
術センター)
また、防除にあたっては、周辺環境、気象条件等に注意し、薬剤の飛散防止
に努める。

表 クサギカメムシ累計誘殺数(予察灯)

設置場所	H30	平年
岐阜市則松	251	196.2
美濃加茂市山之上町	690	178.1
中津川市駒場	773	—
高山市国府町	284	152.4

1) データは5月第1半旬から7月第6半旬までの累計誘殺数を示す
 2) 中津川市駒場の予察灯は、H29に設置したため平年の値はない

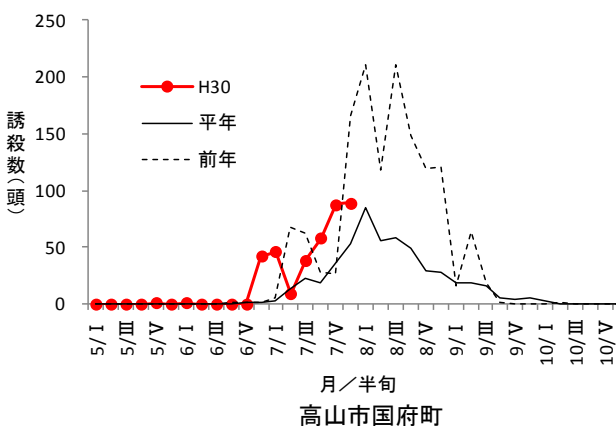
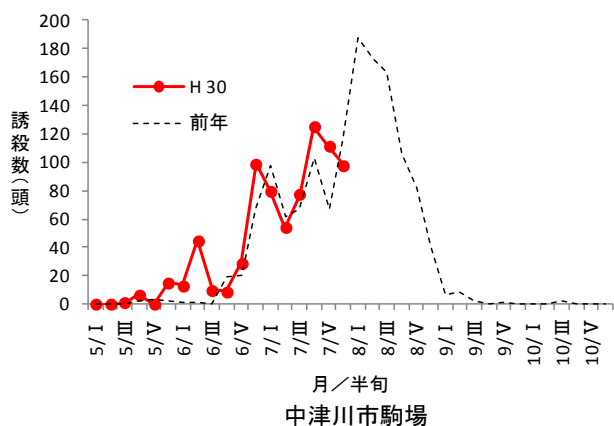
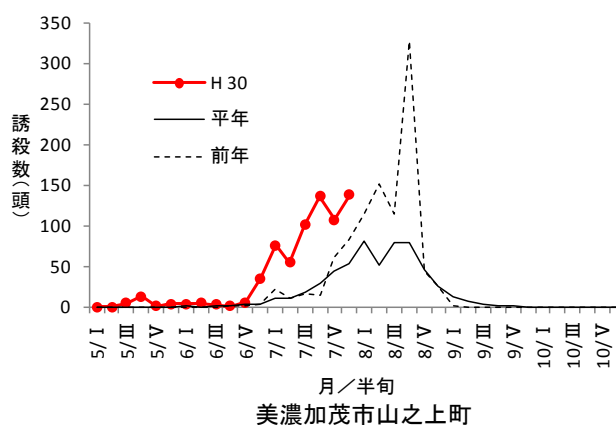
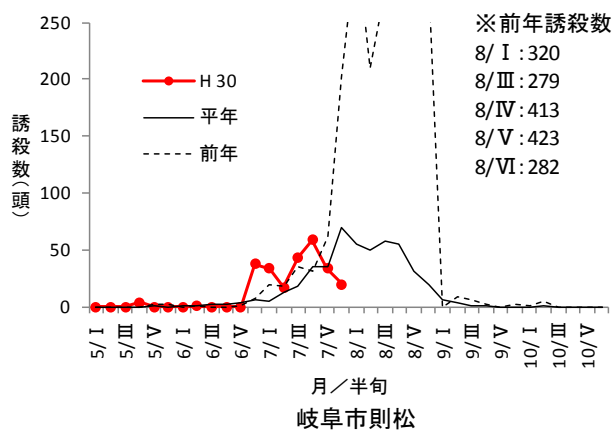


図 各地域におけるクサギカメムシ誘殺数の推移(予察灯)